



新 生 誕 百 年 記 念 美 南 吉

装 丁 展

16人の
クリエーターが
編む南吉童話

2014年1月25日(土) ~ 3月16日(日)

新美南吉記念館

開館時間 9時30分 ~ 17時30分

休館日 月曜日・第2火曜日 ※1

観覧料 210円 ※2

※1 月曜日・第2火曜日が祝日又は振替休日になる場合は翌日が休館日。
※2 20名以上団体割引有り。中学生以下・障がい者手帳をお持ちの方は無料。

◎参加クリエーター

(イラストレーター)

尾崎仁美 小林真理 高松ひとみ
テツポー・デジャイン。 舟崎克彦
山崎杉夫 山下以登 山福朱実
山本祐司 よしざわようこ

(デザイナー)

bookwall bookwall
岡本歌織 小川恵子 小林真理
松岡史恵 丸尾靖子 山影麻奈
(ペーパークラフトアーティスト)
長尾昌枝

◎主催：新美南吉記念館 ◎共催：半田市観光協会

◎企画協力：GALERIE Maie 木川志津子、山影麻奈 (STARKA)



新美南吉生誕100年を記念し、2013年1月、記念館の展示がリニューアルしました

生誕百年記念

新美南吉

装丁展

16人の
クリエイターが
編む南吉童話

本展では、絵本作家や装丁家として活躍しているイラストレーターとデザイナーが制作した、新美南吉童話10作品の挿絵・装画、装丁をご覧いただきます。

造本は「展示する本」をコンセプトに、本展オリジナルのジャバラ折本を手製本しています。

また、水彩、版画、ペン画、鉛筆画、切り絵、和紙のちぎり絵など、さまざまな表現で描かれた原画には、原画独自の魅力があります。

その他にも、南吉童話の春夏秋冬を表現したペーパークラフト作品などを展示します。

16人のクリエイターが編む、懐かしくて新しい、南吉童話の世界をお楽しみください。



新美南吉 (1913-1943)

1913年7月30日、愛知県知多郡半田町(現・半田市)に生まれる。幼くして母を亡くし、養子に出されるなど寂しい子ども時代を送る。旧制半田中学校卒業後、「赤い鳥」入選を契機に北原白秋や巽聖歌の知遇を得る。昭和18年、結核のため29歳で世を去る。



「ごん狐」挿絵
高松ひとみ・画



「子どものすきな神さま」挿絵
山本祐司・画



「去年の木」挿絵
尾崎仁美・画



「久助君の話」挿絵
山下以登・画



「鮎だま」挿絵
テッポウ・デザイン・画



「赤い蠟燭」挿絵
山福朱実・画



ペーパークラフト作品
長尾昌枝



「でんでんむしのかなしみ」挿絵
よしざわ ようこ・画



「手ぶくろを買いに」挿絵
舟崎克彦・画



「小さい太郎の悲しみ」挿絵
山崎杉夫・画



「里の春、山の春」挿絵
小林真理・画

新美南吉記念館

〒475-0966 愛知県半田市岩滑西町1-10-1
Tel: 0569-26-4888 Fax: 0569-26-4889
<http://www.nankichi.gr.jp/>

■新美南吉記念館へのアクセス

- 名鉄 名鉄「名鉄名古屋」駅から河和行き又は内海行きに乗車「知多半田」駅まで特急29分、急行35分。そこからタクシーで約8分。又は知多半田行き普通電車乗車「半田口」駅下車、徒歩20分。
- 自動車 名古屋方面から名古屋高速道路又は伊勢湾岸自動車道から知多半島道路を利用し、「半田中央IC」を降りて約5分。
※無料駐車場61台(身障者用4台)

